

CASBEE-建築(新築)2016年版
福岡市第2期展示場等整備事業 展示場

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質							3.9
Q1 室内環境			0.40				3.9
1 音環境		3.2	0.15	-	-		3.2
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音	床と天井に吸音性のある材料を採用	4.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-		3.0
2.1 室温制御		1.8	0.50	-	-		
1 室温		1.0	0.60	3.0	-		
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式	空調シミュレーションを行い最適な空調計画としている	5.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境		5.0	0.25	-	-		5.0
3.1 昼光利用		-	-	-	-		
1 昼光率		-	-	3.0	-		
2 方位別開口		-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-		
3.2 グレア対策		-	-	-	-		
1 昼光制御		-	-	3.0	-		
3.3 照度		-	-	3.0	-		
3.4 照明制御	1作業単位で照明制御でき、かつ、端末・リモコン等で調整できる	5.0	1.00	3.0	-		
4 空気質環境		4.7	0.25	-	-		4.7
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質	使用材料は全て☆☆☆☆	5.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気		4.0	0.30	-	-		
1 換気量	居室換気は30m ³ /h人	4.0	0.50	3.0	-		
2 自然換気性能		-	-	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮	各給排気口は6m以上離隔確保	4.0	0.50	3.0	-		
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視	CO ₂ 監視を中央で行う	5.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御	ビル内禁煙	5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.9
1 機能性		3.9	0.40	-	-		3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-		
3 内装計画	明確な機能及び内装コンセプトに沿った計画	5.0	1.00	-	-		
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に適した材料及び建築計画	4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保	維持管理がしやすいバックヤード環境	4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30	-	-		3.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	重要度係数1.25	4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外ダクトの90%以上がSUS又はガルバリウム	5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	配管は高耐久な仕様を採用	5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備	災害時の換気対応、地震対策、重要度の高い室の空調(防災セン)	5.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備	通信の多様化、精密機器の浸水無し、災害時の有線電話、	4.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			4.3	0.30	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率<0.1	5.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		展示室床荷重 49000N/m ²	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		設備更新が可能(屋外設備スペース)	5.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺景観及び隣接するマリンメッセと調和した景観	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.90	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		トップライトの採用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 1.00	2.0	0.50	-	-	2.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		節水機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		中水利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		VS: パーマリウム(東リ) OAフロア: シグマフロア(ニチアス)	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		鉄骨造+乾式壁により分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0, GWPが低い断熱材を採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		荷捌き駐車場の設置、周辺に配慮したスムーズな車両動線	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策をおこなったの屋外照明、屋外広告はなし	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	